

いつも笑顔の 和み系ライター

「ライターに笑顔や癒やしなんてあまり関係ない」と思われるかもしれませんが、実はそこにこそ大きな需要があります！



私の仕事は、取材相手の **緊張をほどく** ことから始まります。安心感があってこそ人は真実を語るもの。その瞬間にしか生まれない言葉を大切にしたいからこそ、**笑顔**を絶やさず話しやすい雰囲気づくりを大切にしています！

「初めての取材で緊張していましたが優しい**笑顔**で接してくださったので安心して話せました」
(行政職員Oさん)



「初対面ばかりの座談会で不安でしたが、ライターさんが**笑顔**で進行してくれたので、ホッと発言できました」
(座談会参加者Kさん)

「ラジオのマイクの前でドキドキしたけど、**ニコニコ**しながら聞いてくれたから、取材の裏話をたくさんしゃべっちゃいました！」
(こども編集部 Aちゃん)



「ハッピーオーラ全開の**笑顔**で現場がパッと明るくなり、いつも取材をスムーズに始めることができます」
(編集者Wさん)



お仕事のご紹介

■伝統工芸・ものづくり(HYOGO CRAFT)

<https://hyogocraft.com/?story=shoyogama>
職人の哲学、素材との対話、そして100年先へと繋ぐ産地の物語。現場の空気感まで丁寧に紐解くストーリーライティングを得意としています。行政・子育て支援 硬くなりがちな行政情報を、子育て世代が「自分たちの物語」として受け取れるよう、親しみやすく温かな視点で執筆。支援の現場と当事者を言葉で繋ぎます。

■建設・産業(建設業界紙 等) 工事現場の最前線で働く人々の想いや、研鑽された技術の裏側を取材

専門的な世界を一般の読者にも響く言葉に翻訳し現場の「誇り」を届けます。

■次世代育成・エデュテインメント

こども編集部 <https://kodomo-henshubu.com/>
こども編集部ラジオ
<https://radicro.com/program/kodomo-henshubu.html>
子どもたちが主役となる取材活動のサポートや、ラジオパーソナリティとしての活動を通じ、言葉で「伝える力」を育む教育支援に携わっています。

■エッセイ:手伝わぬ農家のヨメ日記

<https://koichan.moritambo.com/category/yome-blog/>
https://note.com/jolly_oxalis843
農家の嫁です。でも「暑さに弱く、虫は苦手、冬はしもやけ持ち」の超インドア派。あえて手伝わぬ「ヨメ」という独自の視点から、暮らしに根ざした農業の面白さを等身大の言葉で綴っています。



森田 那岐佐 (もりた なぎさ)

「いつも笑っているね」とよく言われるフリーライター。
兵庫県神戸市出身、家族は農業を営む夫と中1、小5の息子二人保護猫。好きなものはパクチーとラジオと笑福亭鶴瓶。

問い合わせ先 ✉ tzuribi@gmail.com

仕事のジャンルは伝統工芸の静かな工房、建設業界の現場、さらには元気すぎる子供たちのラジオまで。年齢もバラバラ、ジャンルも異なるけれど、どこに行っても共通しているのは「そこに熱い想いがある」こと。私は、その熱を冷まらず、鮮度100%のまま言葉にします。インタビューでは、私の笑顔に油断(?)した皆さんが、ポロリと本音を漏らしてくれる。一度読むとじんわり心に残る、そんな体温高めめの文章をお届けします！